

赤十字病院の三浦正毅副院長で構成され、互選で富澤一仁教授が委員長となつて、応募者ひとり一人について公正且つ厳正な選考が行われました。

本年度の応募者は、熊本大学大学院生命科学研究部及び医学教育部から九名、同医学部附属病院から四名、同発生医学研究所から一名、同生命資源研究・支援センター一名、同エイズ学研究センターから二名、熊本保健科学大学から一名の計十八名であり、その中から次の四名が授与候補者として選考されました。その後、理事長に推薦し、理事会において承認された後、それぞれに十五万円が贈呈されました。

なお、併せて「肥後医育振興会学術奨励賞」という賞を付与し表彰されました。

山本 真寿 (三十一才)

熊本大学大学院生命科学研究部 助教 がん生物学分野

「細胞膜における RORI を基軸とした時空間的なカベオラ形成機構の解明」

俵 望 (三十五才)

熊本大学大学院生命科学研究部 特任助教 アジア神経難病研究・診療講座

「実験的筋炎マウスを用いた孤発性封入体筋炎根治療法開発への挑戦」

村田 唯 (二十八才)

熊本大学大学院生命科学研究部 厚労科研究員 分子脳科学分野

「統合失調症マウスモデルにおけるトランスポゾン転移機構の解析」

村田 愛 (三十三才)

熊本大学発生医学研究所 特定事業研究員 分子細胞制御分野
「高速原子間力顕微鏡を用いたミトコンドリア膜の高分解能ダイナミクス観察」

平成二十九年度(第二十一回)肥後医育振興会外国人留学生奨学助成を行う

医学・医療国際交流支援事業の一つとして、平成二十九年度(第二十一回)肥後医育振興会外国人留学生奨学金授与候補者の選考も、医学研究助成金授与候補者の選考に併せて行われました。

本年度の応募者は、熊本大学大学院医学教育部から四名、同薬学教育部から一名の計五名であり、その中から次の四名が授与候補者として選考されました。

その後、理事長に推薦し、理事会において承認された後、それぞれに十五万円が贈呈されました。

なお、併せて「肥後医育振興会優秀留学生表彰」という賞を付与し表彰されました。

布魯克

熊本大学大学院医学教育部 研究生(中国)
(消化器外科分野)

DUANGCHIT SUTHAT

熊本大学大学院医学教育部 博士課程二年(タイ)

張 田力

(生体微細構築学分野)
熊本大学大学院医学教育部 博士課程三年(中国)

ADHKARI DEVKOTA ANJANA

(微生物学分野)
熊本大学大学院薬学教育部 博士後期課程三年(ネパール)

(創薬・生命薬科学専攻)

平成二十九年度医学研究助成金・外国人留学生奨学金の授与式を開催



熊本地震シンポジウム2017

熊本地震シンポジウム2017会長
熊本地震血栓塞栓症予防プロジェクト(KEEP project)代表

九州看護福祉大学教授
熊本大学客員教授

平成二十九年(二〇一七)四月二十二日(土)〜二十三日(日)の二日間、熊本地震シンポジウムを熊本市のくまもと県民交流館パレアで開催致しました。

過りますと、平成二十八年四月の熊本地震の発災早期に車中泊の女性がエコノミークラス症候群で亡くなれば、マスメディアの報道が過熱するなか平成二十八年四月二十日、熊本県健康福祉部長名で日本循環器学会と日本静脈学会に対しエコノミークラス症候群予防活動に対する正式依頼が出され、その依頼の被災地受け皿として、わたくしどもはエコノミークラス症候群に対する予防・啓発活動を

熊本地震シンポジウム2017の報告

平成二十九年度肥後医育振興会医学研究助成金及び肥後医育振興会外国人留学生奨学金の合同授与式が、平成二十九年十一月二日に医学教育図書棟四階ゼミ室において行われ、西理事長から医学研究助成金四名、外国人留学生奨学金四名に對して、各十五万円が受賞者ひとり一人に手渡されました。また、それぞれの受賞者の代表者から謝辞及び今後の決意が述べられました。